

学研狛田東地区の開発動向について

1、事業の概要

○開発面積：487,513 m²

(内訳：煤谷川流域 392,303 m²、九百石川流域 95,210 m²)

○開発手法：土地区画整理事業（個人施行）

○事業主体：京阪電鉄不動産株式会社

(共同施行者の同意を頂き施行いたします。)

2、土地利用計画

企業施設用地をメインとして、地区の東側には住宅用地、沿道施設サービス用地などを配置し、多様な都市機能が複合した利便性の高い都市環境を創出します。

3、公共施設等の整備

①道路：京奈和自動車道の精華下狛 I C 交差点と山手幹線に接続する地区内幹線道路（幅員：14.5m）を整備し、学研施設の景観に配慮し、電線類は地中化による整備を行います。

②公園：住宅用地と事業用地の緩衝帯となる配置とし、良好な住環境を創出します。

③排水施設：雨水流域は、一級河川煤谷川と普通河川九百石川の 2 流域であり、流域面積の増減が発生しない造成計画とし、各流域毎に雨水流出抑制となる調整池を整備します。

4、今後の予定

2021 年 4 月初旬で、造成工事に着手できることを目標としています。

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
設計・申請	—————	—			
造成工事		—————	—————	—————	—
建築工事				—————	—————